

平成30年度 活動計画

平成30年度の活動計画としましては、NPO法人としての組織基盤や財政基盤は、良い所まで来たと思います。今後は、更に専門性のあるスタッフのお力をお借りして、更に質の高い法人経営の展開を考えております。

この基盤を活かし、当法人の理念でもあります「地域福祉の隙間を埋める事業展開」に向け、地域が求めている住民ニーズの調査・研究を進めながら、求められている地域（町内）と協働しモデル的な地域福祉を確立し、その活動を行政等も含めた全市的な展開に結び付けていきたいと考えております。

そのためには、一定の専門性を持った人材の確保が必要であり、「人・物・お金」をどう回していけるかの知恵を絞りたいと考えています。

また、更に経営力のあるNPO法人を目指し、これまで通りBGMスタッフの方々には、優れた労働による収益が発生すれば、状況を見て還元したいと考えております。

「移送サービス事業」

運転会員の増員が課題ではありますが、福知山市全体を見たときに“三和地域協議会”の様に「交通空白地有償運送」が、他に地域にも広がる可能性が見えております。

その流れを受けて“各地域を守る目的を持たれた運転会員さん”が「福祉有償運送」を担って頂ける流れも、徐々にではありますが見えてきております。

当法人の役割は収益の有無に関わらず、大きい使命だと考え事業を進めます。

「ピア事業」（うんぱっぱ）

放課後児童デイ事業を中心に、安定した事業展開がスタッフ皆さんのお陰で推移しております。今年度は「短期入所サービス事業」のスタートが予定されており、新たな利用者ニーズに答えたいと考えております。

また、今年度は地域自治会の高齢者の方を対象とした「サロン」の実施が困難な地域や、介護保険のサービス削減に対する家事介助を中心とした活動も、意識のある自治会と協働して進めていきたいと考えております。

また、将来的には以前から言っております「就労継続支援B型事業」の開設も睨みつつ、条件を整えていければと考えております。

「病院ボランティア事業」（京都ルネス病院）

当法人としての“有償ボランティア”の事業であり、スタッフの方々には以前からお世話になり、民間の病院ではありますが公共性のある場所でもあり、多くの皆様に喜んでいただいております。

しかし、今年に入ってスタッフが一度に減り、1日2名のスタッフの確保が難しい状態です。何とか、新メンバーの確保を行い安定した事業の継続を目指したいと考えております。